

広報 やまこし

1981 10月 第160号

発行/新潟県古志郡山古志村役場 電話 (025859) 2331 ■印刷/大川印刷株式会社 ■毎月1日発行



竹沢小運動会

さる九月十三日、校舎を新築しグラウンドも整備された竹沢小学校で運動会が開かれました。途中、にわか雨の降るあいにくの天候でしたが、ソウキンで水たまりの水をとったりして続けられ、児童、PTAとも楽しい一日となりました。

……ところで、運動会の起りはどうして、大学や軍の学校から十九世紀にイギリスの陸軍士官学校で行われたのが始まりとされています。日本では明治七年に、海軍兵学寮の「競闘遊戯会」が最初。小学校で広く運動会が行われるようになったのは、日清戦争(明治二十七年~二十八年)ころからだといわれています。

人口の動き ■人口 3,564(-5) 男 1,774・女 1,790 ■世帯数 914(-1)
 ■8月中のうごき □出生 4 □死亡 2 □転入 9 □転出 16

村民ハイキング



お知らせ

虫亀、種芋原から萱峠へ
 ふるってご参加ください
 大人といっしょに。

村教育委員会では、村民のみなさんの健康とふれあいを求めて、村民ハイキングを計画しました。2コースに分かれて出発しますので、参加希望者は定刻までに集まってください。

▽日程
 集合 虫亀小学校 8時
 種芋原小学校 8時30分
 萱峠到着 10時30分
 みそ汁作り、昼食 13時30分
 休憩、その他 15時30分
 萱峠出発 15時30分
 帰着、解散 15時30分

▽参加者 村民だれでも。幼児および小学校4年生までの児童はまわってください。

▽期日 10月10日(体育の日)

狂犬病予防注射

犬を飼っている人は、必ず受けてください。

期日—10月21日(水)

虫亀診療所	10:15~10:45
東竹沢診療所	11:00~11:20
役場	11:30~12:00
民俗資料館	13:00~13:20
種芋原公民館	13:40~14:00

▶手数料 登録料 2,100円
 (今春登録済の人は不要)
 注射料 1,500円

結核レントゲン

7月に受けなかった人は必ず受けてください。

期日—10月26日(月)

竹沢農協	9:30~10:30
東竹沢小学校	10:45~11:15
民俗資料館	11:30~12:00
種芋原温泉	13:00~14:00
虫亀小学校	14:30~15:30

開眼検診

目の不自由な人を検診して、角膜移植や白内障・緑内障の手術の適応を調べ、その指導をするため「開眼検診」が行われます。

▶日時—10月15日(木)
 午後1時~

▶会場—竹沢小学校

▶対象—視覚関係身障者手帳を持っている人、その他視力に異常がある人。ただし、現在医療機関で目の診療を受けている人は除きます。

▶申し込み—一般希望者は10月9日までに、住民課衛生係へ。

統一劇場公演
 ミュージカル 2幕11場
兄さん
 作・石塚 克彦
 音楽・寺本 建雄
 振付・石橋寿恵子



11月4日(水)午後6時30分
 山古志中学校体育館
 前売券 大人 2,000円
 中高生 1,800円
 (当日200円増)

主催 若いよみんな集まろう会
 (会長 五十嵐良一)

後援 村教育委員会、村連合青年団、
 村商工会、生活改善グループ

▽持ち物 昼食、おやつ、水筒、ゴミ袋、キノコやアケビを入れる袋、みそ汁に入れる実を少し、おわん、雨具など。

▽雨天のときは中止します
 中止の場合のみ、広報車で当日の朝、お知らせします。

▽その他
 ケガ等の処置は、参加者個人の責任でお願いします。

種芋原、虫亀診療所
 休診のお知らせ
 種芋原診療所、虫亀診療所を、柳先生の都合により、10月9日(金)~23日(金)の予定で休診させていただきます。

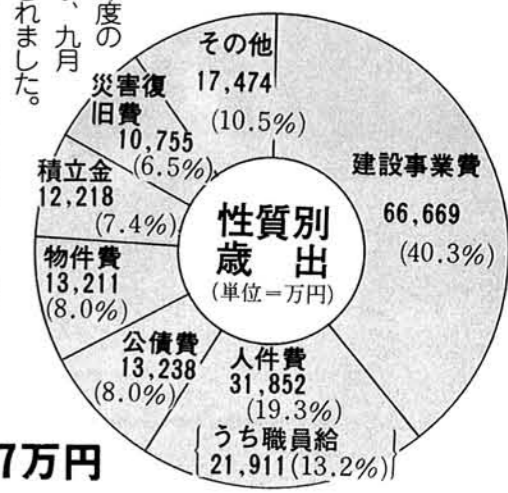
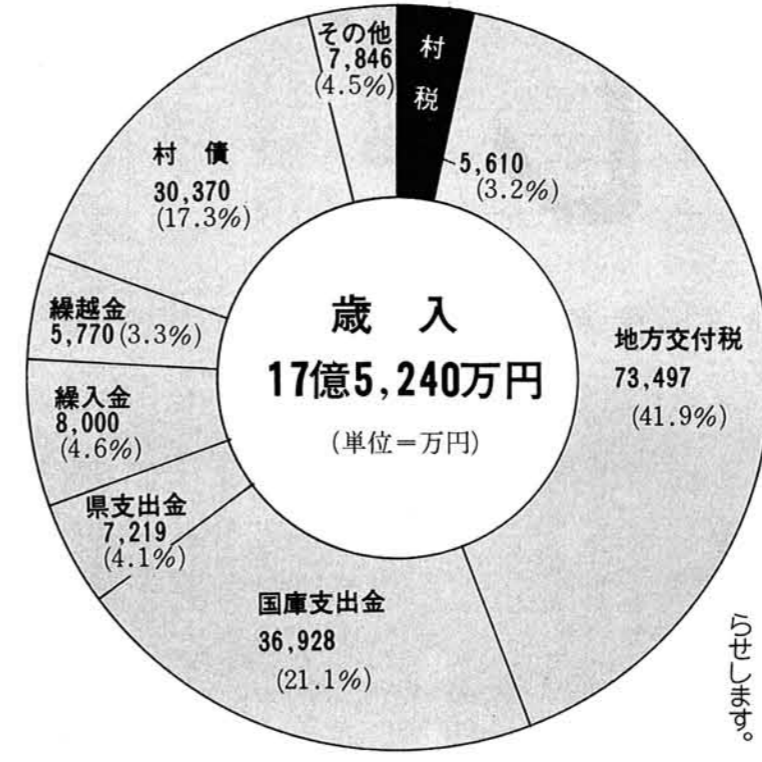
その間、次のとおり竹沢診療所へマイクローバスを運行しますのでご利用ください。

発車時刻 8時50分
 月曜 種芋原診療所前
 火曜 檜木
 水曜 虫亀診療所前
 木曜 種芋原診療所前
 金曜 檜木
 土曜 虫亀診療所前

※なお、都合によりマイクローバスを運休させていただくことがあります。その際は事前に連絡します。

村の家計簿

昭和55年度一般会計決算



昭和五十五年度の決算がまとまり、九月村議会で認定されました。当初一四億九、八五三万円スタートした一般会計予算は、六回の補正で、一七億四、八三六万円に。この村のお金がこのように使われたか……その主な内容をお知らせします。

歳出 16億5,417万円
差引 9,823万円 (黒字)

土木費 <p>2億4,594万円 (14.9%) 道路や除雪などに</p>	教育費 <p>5億5,226万円 (33.4%) 子供たちの未来のために</p>
総務費・議会費・消防費・その他 <p>3億2,308万円 (19.5%)</p>	災害復旧費 <p>1億0,755万円 (6.5%) 地すべりなどに</p>
農林水産業費・商工費・労働費 <p>1億2,370万円 (7.5%) 産業を振興するために</p>	公債費 <p>1億3,033万円 (7.9%) 村の借金を返すために</p>
民生費・衛生費 <p>1億7,131万円 (10.3%) 幸せで健康なように</p>	

村政懇談会から

さる七月下旬から八月下旬にかけて、村政懇談会が開かれました。これは、公民館事業の一般成人教育の一環として、住みよい村づくりについて話し合おう、と行われたものです。

各公民館五会場には約二〇〇人の村民が集まり、村当局からは村長と総務課長が出席しました。話し合いは、暮らしに関わる問題だけに真剣そのものでした。その話し合われた主な内容をご紹介します。

- 交通の整備**
 - 通勤通学者の増加など生活の広域化に伴って、村民の関心も非常に高く、各会場とも多くの意見が出ました。
 - 道路の改良、舗装の促進
 - 冬期間の除雪強化と消雪パイプの設置
 - 長岡―種々原間の冬のバス運行
- 産業の振興**
 - 農協統合の促進
 - 水田利用再編対策への対応
 - 錦鯉指導と指導者の確保
 - 制度資金の有効利用
 - 観光資源の有効利用と観光振興
 - 工場誘致について
- 環境衛生**
 - ごみ処理場の設置と破砕機の有効利用
 - 水資源の確保と水道
- その他**
 - 山古志村の祭り
 - 若人交歓会について
 - 村営バスの運行
 - 村民参加による総合計画
 - 児童数の減少と学校統合



9月定例村議会

55年度決算など13件を可決・承認

昭和56年第3回定例村議会は、6月16日に招集され、18日までの3日間開かれました。昭和55年度決算など13件が提案され、それぞれ原案どおり可決、承認されました。

主な内容は次のとおりです。

人事

▽教育委員
任期満了の教育委員に、五十嵐毅一さん(56歳、梶金)の再任が同意されました。

契約

雪上車1台を買い替えるため、購入契約が議決されました。契約金額は720万円。

補正予算

▽一般会計補正予算(第2号専決、および第3号)
第2号(専決処分承認)、第3号あわせて、歳入歳出それぞれ1,316万円追加し、総額は14億6,829万円となりました。主なものは次のとおりです。

- 一歳出—
- 林道工事請負費 180万円
- 錦鯉越冬施設補助 330万円
- 治山治水費 216万円
- 道路維持費 150万円
- 災害復旧費 177万円
- 一歳入—
- 地方交付税 500万円
- 県支出金 628万円

その他

長岡地域土地開発公社と山古志観光開発公社の経営状況、寄付の受け入れについて議決されました。

(3) 昭和56年10月

歳出
前年 〇・七%減少
村民一人あたり 四十六万円

昭和五十五年度の歳出総額は一六億五、四一七万円、村民一人あたりでは四五五、五〇〇円となりました。前年度と比べると、一、一五五万円、〇・七%減少です。

これは、六・二六災害復旧事業が三年目に入って大幅に減少したこと、また、村史史料集印刷費と村道改良二路線の支出四、七一一万円が五十六年度に繰り越された明許繰越などによるものです。

歳出内訳では、竹沢小学校新築により教育費が三割以上を占めてトップに。続いて、総務費、土木

55年度に行った主な建設事業等 (単位=万円)

竹沢小学校新築	39,110
村道改良(2線)	4,360
舗装(7線)	7,252
防火水そう(8基)	1,858
山古志中グラウンドナイター施設	1,270
共同作業所等建設補助(6ヵ所)	1,551
除雪関係	4,735

費。性質別でも、学校建築や道路改良、舗装などに力を入れたため、建設事業費が四割に。いっぽう、人件費、扶助費、公債費などの義務的経費も三割を占めています。

歳入では、相変わらず地方交付税、国庫支出金、村債など依存財源が大半を占め、村税は前年度より一〇・九%増えたとはいえ全体の三・二%と、財政力の乏しさを示しています。

結果的には、歳入歳出差引九八・三万円の黒字と、健全財政を行っていくことができました。



▲竹沢小学校新校舎

村債の現在高 (55年度末)

起債区分	未償還元金
過疎対策事業	5億8,341万円
義務教育施設	2億3,918万円
辺地対策事業	1億6,168万円
その他	2億6,360万円
計	12億4,787万円

積立金の現在高 (55年度末)

種類	金額
役場建築基金	1億5,568万円
財政調整基金	1億0,301万円
教育施設基金	6,597万円
土地開発基金	3,128万円
その他	9,567万円
計	4億5,161万円

昭和55年度特別会計決算 (単位=万円)

会計別	歳入	歳出	差引
診療所会計	6,443	6,170	273
国民健康保険会計	19,230	17,496	1,734
農業共済事業会計	1,957	1,899	58

共同募金
10月1日から

多く出されました。公民館では、今後もこうした話し合いの場を持っていきたいと考えています。

六つの基礎食品

—毎日の食事に必ず六つを
組み合わせましょう—

食品の類別	食品の例示
1 魚、肉、卵 大豆	魚、貝、いか、たこ、かに、かまぼこ、ちくわなど 1% 牛肉、豚肉、鳥肉、ハムソーセージなど 鶏卵、うずら卵など 大豆、とうふ、なっとう、生揚げ、がんもどきなど
2 牛乳・乳 製品 骨ごと 食べら れる魚	牛乳、スキムミルク、チーズ、ヨーグルトなど 91% めざし、わかさぎ、しらす干しなど 注 わかめ、こんぶ、のりなど 海藻を含む
3 緑黄色 野菜	にんじん、ほうれん草、ごまっな、かぼちゃなど 46%
4 その 他の 野菜 果物	だいこん、はくさい、キャベツ、きゅうり、トマトなど 3% みかん、りんご、なし、ぶどう、いちごなど
5 米 パン めん も	飯、パン、うどん、そば、スパゲティなど 0% さつまいも、じゃがいも、さといもなど 注 砂糖、菓子など糖質含量の多い食品を含む
6 油 脂	てんぷら油、サラダ油、ラード、バター、マーガリンなど 47% 注 マヨネーズ、ドレッシングなど多脂肪食品を含む

※グラフは不足を示す比率（3日間9食で3食以上使用していない場合に不足とした。）

「バランスのとれた食事をして
いる人はわずか九%。献立のレパ
ートリーが少なく、牛乳、緑黄色
野菜、油脂が不足」——山古志村
栄養診断報告書では、こう述べて
います。

バランスの とれた食事を

10月は食生活改善普及運動月間

山古志村栄養診断
報告書から(1)

少ない食品種類
食品種類の理想は一日三〇種以
上、少なくとも二〇種はほしいも
のです。ところが調査では二〇種
未満が三五%、献立のレパートリ
ーも限られ、あえ物やおひたし、
揚げ物では天ぷら、焼物では焼魚
や目玉焼といった簡単なものが大
半を占めています。

もっと牛乳を飲もう
緑黄色野菜も忘れずに

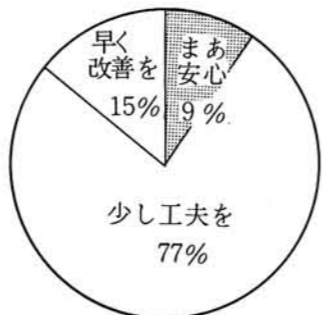
次に食品種類および材料を六つ

「少し工夫を38〜47点が七七%、

の基礎食品別に分けてみました。
左の表のように、「乳類・海そう」
が圧倒的に不足し、「緑黄色野菜」
「油脂」も不足しています。
特に牛乳を全く飲まない人が半
数近くいます。最近カルシウム不
足が問題にされ、クローバー運動
が行われていますが、牛乳を飲む
習慣をつけたいものです。
緑黄色野菜についても、種類が
限られており、食べる量もわずか
でした。

献立は、六つの基礎
食品を組み合わせ

栄養診断の結果として、三日間
九食について、一食ごとに六つの
基礎食品のうち何種類使っている
か点数をつけました。一食につき
一種1点で54点満点です。
「まあ安心48〜54点」が九%、

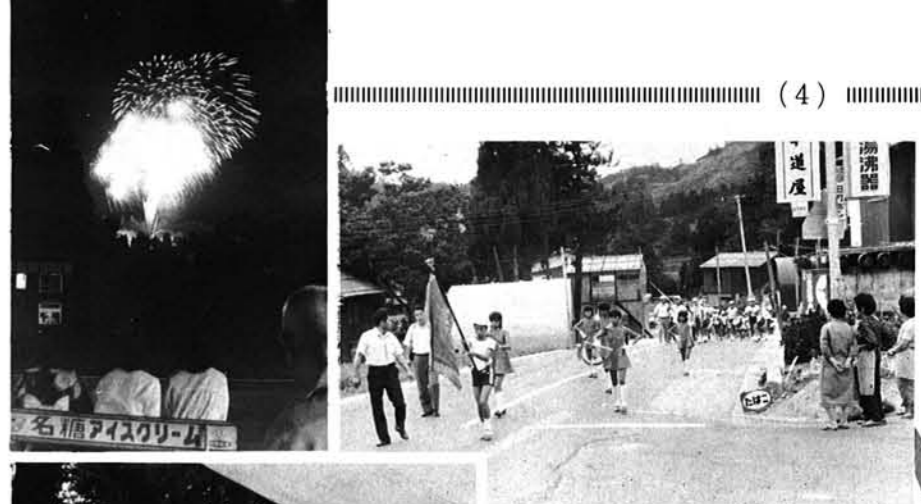


「早く改善を37点以下」が一五%
という結果です。

健康、体力づくりには「栄養・運
動・休養」のバランスから、とい
われています。
特に、成人病予防などには、バ
ランスのとれた食生活が何よりも
大切です。毎日の献立づくりには
「六つの基礎食品」を組み合わせ
て、過不足のない栄養をとりま
しょう。



▲下村で田上がり品評会
さる9月5日、下村養鯉組合(星
野三男三会長、会員35名)で本格
的な錦鯉シーズンを前に、田上がり
品評会が行われました。
同会は今年、錦鯉愛好者で再結
成したもので、これが最初の行事。
4〜20cmの当歳60尾余の自まんの
鯉が出品されました。



▼種芋原まつり
九月四日、五日に種芋原まつり
が催されました。小学校鼓笛隊パ
レード、牛の角突き、花火、熊野
神社祭礼すも、盆踊りと、まつ
りを満喫。
このまつりが終わると、稲刈り
シーズンの到来です。



教育長杯争奪トーナメント戦
イーグルスが優勝
八月三十日、十チームで行われ
た野球トーナメント戦は、イーグル
ス(東竹沢)が初優勝しました。

長岡地区安全運転競技大会で
坂牧健一さん(種芋原)が優勝



銀賞の 佐々木道夫さん
優勝した 坂牧 健一さん

▲長寿90歳を祝う
今年九十歳になった西原ツノさ
ん(虫亀)、坂牧滝一郎さん(種芋
原)小川タケさん(同)の三人に、
長寿を記念し、県および村社会福
祉協議会から記念品が贈られ、九
月十五日に村長から手渡されまし
た。写真は西原ツノさん。



第5回
産業まつり
11月3日(火)
8時30分〜午後2時
池谷小学校

「産業まつり」も今年で第五回
目をむかえました。盛大な催しと
なるよう、ご協力ください。
▽出品物—農産物、林産物、錦鯉、
民芸品、工芸品、その他
▽出品方法—後日、出品申込書を
配布しますので、多くの出品を
してください。原則として、出
品物は即売します。
●出品物の搬入—十一月二日午前
▽バザー—婦人グループによる、
「手打そば」、「鯉のかんろ煮」
など
▽主催—産業まつり実行委員会

錦鯉品評会
山古志総合錦鯉品評会
10月23日(金)
錦鯉センター
18日(日) 種芋原小プール

新潟県錦鯉品評会
10月24日(土)〜25日(日)
小千谷市役所構内

第24回
長岡地方家畜共進会
10月29日(木)
中央家畜市場(長岡市高島町)
▽出品資格
肥育牛(和牛・乳牛)十五か月
齢以上
※販売希望者は、翌日のせり市場
か、東京へ枝肉出荷できます。
※詳細については、産業課へ。

児童手当の改正
法律の一部改正により、十月一
日から児童手当の支給額が変わり
ました。
○村民税非課税世帯
月額七、〇〇〇円
(改正前六、五〇〇円)
○村民税課税世帯
月額五、〇〇〇円
(改正前と同じ)

なお、今回の支給日は十月六日
(火)です。印鑑を持っておいで
ください。

国民年金の改正

老齢年金は7.8%引き上げ

改正された国民年金のポイント

●(拠出年金)	
●年金額の引き上げ(56.7実施) 昭和55年度の全国消費者物価指数の上昇率(7.8%)に応じた年金額の引き上げ(月額)	
老齢年金	25年年金 42,000円→45,275円 10年年金 26,550円→28,625円 5年年金 22,600円→24,367円
障害年金	1級 52,250円→56,325円 2級 41,800円→45,058円
母子・準母子・遺児年金など	41,800円→45,058円
●保険料額の改定(57.4実施)	
定額保険料	4,500円→5,220円
●(福祉年金)	
●年金額の引き上げ(56.8実施) 社会経済情勢にかんがみ、必要に応じた年金額の改善	
老齢年金	22,500円→24,000円
※扶養義務者の収入が年間600万円(6人世帯)以上の場合	22,500円→23,000円
障害年金	1級 33,800円→36,000円 2級 22,500円→24,000円
母子・準母子年金	29,300円→31,200円

物価スライドによる年金額の引き上げなど、国民年金の改正が行われました。

改正の主な内容は次のとおりです。

▼**拠出年金**

①年金額の物価スライド(七・八%)を実施。なお、物価スライドによる年金額の改定は、法律で翌年一月から実施することになっていますが、今年は六か月繰り上げ「七月改定」となりました。

②保険料の改定で、定額保険料が五、二二〇円に。昨年の改定の際に決められていた額四、八五〇円に物価スライド率を乗じたものです。

▼**福祉年金**

①福祉年金の引き上げを行うとともに、老齢福祉年金の所得による二段階支給を行うようになり



②所得制限が緩和されました。

国民年金移動相談所

10月29日(木)

午前10時~12時 役 場
午後1時~3時 種 草 原 公 民 館

年金のことについて、どんなことでもご相談ください。

おぼろげな夢

(5)

すもうの行司25年—

「最初はすもう取りとかけもちで」

種草原の坂牧菊松さん



物言いにカッとして軍配を割ったことも。やっぱり種草原に勝たせたくて、相手方と大げんかしたり……今はそんなことはありませんけどね。

十年くらい前には、栃尾の秋葉様に行司の勉強に行ってきた。技は百手も知らなければならぬし、祭礼すもうのおはらいもありますから」

坂牧さんは、滝之又、半蔵金、守門などにも行司に出かけています。近郷の行事で一番若く、声の勢いもさすがです。

「すもうが好きで、声も力が入るんです。でも、二三年前までは行司すると一週間くらい声も出なかつた……」

衣装は今、洗たくに出しているそうですが、

「昔のはもう着れなくて、五年前に角道会(種草原のすもう愛好



九月五日の種草原熊野神社祭礼すもうで、紺の衣装を着けて行司をつとめていた坂牧菊松さん(52歳)をおじゃました。

「若いときからすもうを取っていたんですが、昔はすもうを取らないと、一人前の若い衆に見られなかつたんです。滝之又や福山、半蔵金、栃尾、虫亀など近郷は全て回りました。当時、すもう取りは女の子なんかにもてたもんですよ」

「行司を始めたのは、初めて二十五年くらいかな。最初のころは軍配を持ちながらシ

「そりゃ、差し違いが何度あったことか。昔は酒が入っていたし、気も荒かつたもんで……検査役のヤツを脱いで、そうしてすもうを取っていたんです」

「行司というと難しいと思うんですが、

「昔は、差し違いが何度あったことか。昔は酒が入っていたし、気も荒かつたもんで……検査役の

「昔のはもう着れなくて、五年前に角道会(種草原のすもう愛好

「すもうが好きで、声も力が入るんです。でも、二三年前までは行司すると一週間くらい声も出なかつた……」

衣装は今、洗たくに出しているそうですが、

「昔のはもう着れなくて、五年前に角道会(種草原のすもう愛好

者の念で作りしました。普通の服と違うので、方々へ問い合わせをしてやつと出来たんです。洗たくにしても、かなりめんどうらしいです」

昔からの伝統を残したい、と語る坂牧さん。すもうも、若い人が関心を持ち、だんだん盛り上がりつつあるそうで、来年は角道会で呼び出しの衣装などをそろえたいと、張り切っています。

10月11日~17日 行政相談週間

この週間は、よりよい行政サービスをめざして全国一斉に行われるものです。今年のテーマは「親切・迅速な窓口を」。

道路、保険年金、生活保護、交通安全、公害、登記……等、日常生活で困っている問題は、一人で悩まずに「行政相談員制度」をご利用ください。

村では、10月16日(金)午後1時~4時に役場で「合同相談所」を開きます。また、行政相談委員畔上才次郎(木籠二五四八)は自宅でも相談に応じています。

相談は無料で秘密は堅く守られますので、気軽に相談ください。

献血に協力ありがとうございました

8月28日に献血車「ゆうあい号」が来村し、次の100名の方々に協力いただきました。善意の献血に深く感謝します。(敬称略)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|--------------|-----------|-------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------|---------------|------------|------------|-------------|--------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 種草原 | 佐々木道夫 影山勝義 | 小川憲明 影山裕司 | 坂牧善夫 坂牧亜矢 | 樺沢一男 樺沢弘行 | 小川勝男 小川フミシ | 小川フミツ 小川繁三 | 長谷川ミヅ子 長谷川又一 | 坂牧恵イ 坂牧二セ | 長谷川達也 長谷川又六 | 小沢次郎 小川六一 | 坂牧フサ子 坂牧正義 | 川上テイ子 川上作男 | 樺沢光子 樺沢タツ子 | 小川あき子 小川忠雄 | 金内美代子 金内保一 | 坂牧太郎 坂牧良祐 | 草間頼雄 | 五十嵐キヨ子 五十嵐ヨシ子 | 田中カズエ 田中久美 | 酒井美千代 酒井丈子 | 五十嵐英益 五十嵐イウ | 五十嵐なつ子 | 南平 | 畔上伸治 青木行雄 | 青木幸七 藤井英江 | 藤多真子 島津貴美 | 沢野吟二 星野典義 | 星野正敏 星野俊雄 | 高野武義 高野雅俊 | 小池洋次 小池達正 | 東竹 | 関川秋子 関川務子 | 小松千代 小松清子 | 上田博一 上田博正 | 外原賀利 福山利毛 |
|-----|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|--------------|-----------|-------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------|---------------|------------|------------|-------------|--------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|

八犬伝とその作者

馬琴の、両眼ともに視力がなく草稿が支離滅裂になり版元の解説が出来なくなった事から馬琴方を訪ね口述に切り替えて筆記代筆に、との提言をしたものであった。

馬琴は、そのことについて前に失敗した経験があるので余り気乗りはしなかつた。だが丁字屋は自宅近所に住居し寺小屋を開業していた越前浪人の浪人西岡修藏という武士をつれて来て、代筆者に適任と推せんした。

馬琴とて、八犬伝の筆を折る気は毛頭なく、書き続けたい、完結させたいという執念に燃えていたところであつたのと西岡修藏なるものの初対面の挨拶も流石は武士の作法になつた礼儀であつた事から、自分の両眼の代役してみようかという氣になつた。

さて、仕事に入れば約束の時刻にはきちんと来り、読ませれば誤りなく、区切りも正しく、抑揚もよく耳に入る。馬琴もこれならばと喜んだのも僅な間だけだつた。馬琴の意にかなつた頼もしい西岡代筆であつたけれども、人それぞれ無くて七

癖の性癖がある。この西岡は寺小屋の先生だけに馬琴の口述する文章に当てはめる漢字その他に異議をさしはさむ事であつた。馬琴は西岡の瞳目に値する造詣の深さに感心するものの、馬琴は脳裡に浮ぶ興味を口述するのに支障を来た事さしはさばであつた。作法用字の指南のために雇つたものでないにもかかわらず、逆に義語の講義をする至つては馬琴の自尊心が許さない。遂にこの先生も断わる事と十文字屋に引取られた。

この頃、馬琴は四谷に転居していた。草深い田舎に似て人通りは少なく人声すら減多に耳にする事はない静寂のなかに、誰しもがもつ際限のない人間慾望と八犬伝の執念が身心を炎とすりに加えて家庭内の潮騒しきのなかで昼夜の区切りない毎日の過していた。

こうしたなか、突如として嫁のお路が、「八犬伝の筆記」を私にさせてほしいと申いでたのである。馬琴は唖たり驚いたり、しばらくはその返事も口になかつたほどであつた。